

子どもたちに誇れるしごとを。



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 清水建設株式会社

コード番号 1803 URL <http://www.shimz.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 山口 充穂

TEL 03-3561-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	712,427	△8.9	51,737	30.9	51,745	32.5	35,053	45.8
28年3月期第2四半期	781,795	14.8	39,527	145.6	39,064	98.2	24,044	105.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 8,620百万円 (742.6%) 28年3月期第2四半期 1,023百万円 (△96.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	44.68	44.64
28年3月期第2四半期	30.65	30.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,598,720	485,577	30.1
28年3月期	1,722,936	485,655	27.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 481,031百万円 28年3月期 480,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	11.00	16.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(平成28年11月8日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※平成28年3月期の期末配当11円には特別配当6円が含まれており、平成29年3月期(予想)の期末配当14円には特別配当9円が含まれております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,555,000	△6.6	114,000	20.4	114,000	19.4	84,000	41.6	107.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日(平成28年11月8日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	788,514,613 株	28年3月期	788,514,613 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	3,936,643 株	28年3月期	3,928,866 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	784,581,531 株	28年3月期2Q	784,610,860 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。なお、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー報告書は平成28年11月9日に受領する予定です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当上半期の日本経済は、企業収益の改善に足踏みがみられるなど弱さも見受けられましたが、緩やかな回復基調が続きました。

建設業界においては、建築工事では製造業をはじめとする設備投資に足踏みがみられたものの、土木工事では官公庁工事・民間工事とも大型案件が受注の増加に寄与し、業界全体の受注高は前年同期をやや上回る水準で推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高の減少などから、前年同期に比べ8.9%減少し7,124億円となりました。このうち、当社グループの建設事業の完成工事高は、前年同期に比べ7.6%減少し6,508億円となりました。

利益については、完成工事高は減少したものの、完成工事総利益率の改善による完成工事総利益の増加などから、営業利益は前年同期に比べ30.9%増加し517億円、経常利益は32.5%増加し517億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は45.8%増加し350億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、現金同等物（現金預金及び有価証券に含まれる譲渡性預金）は増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ1,242億円減少し1兆5,987億円となりました。

負債の部は、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ1,241億円減少し1兆1,131億円となりました。

なお、連結有利子負債の残高は3,709億円となり、前期末に比べ215億円の減少となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したものの、株式相場の下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少などにより、前期末とほぼ同額の4,855億円となりました。また、自己資本比率は前期末に比べ2.2ポイント増加し30.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下半期の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、海外経済の不確実性の高まりや金融・資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

建設業界においては、引き続き労務需給や原材料価格の動向に留意を要するものの、公共投資は高めの水準を維持するうえ、首都圏を中心に不動産投資の動きは依然活発であり、受注環境は底堅く推移するものと考えております。

このような状況のもと、最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月9日に公表した通期の業績予想について、売上高は1兆5,550億円（前回予想比△150億円）、営業利益は1,140億円（同＋200億円）、経常利益は1,140億円（同＋180億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は840億円（同＋190億円）に修正しております。

また、通期業績予想の修正に伴い、期末配当予想を修正しております。

詳細については、本日（平成28年11月8日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	189,167	124,850
受取手形・完成工事未収入金等	548,925	411,718
有価証券	85,202	193,192
販売用不動産	21,620	16,639
未成工事支出金	84,518	89,950
開発事業支出金	26,041	32,235
PFI事業等たな卸資産	57,983	54,301
その他	107,911	104,715
貸倒引当金	△976	△828
流動資産合計	1,120,395	1,026,773
固定資産		
有形固定資産	231,382	230,890
無形固定資産	4,274	4,265
投資その他の資産		
投資有価証券	349,447	318,625
その他	19,724	20,421
貸倒引当金	△2,288	△2,255
投資その他の資産合計	366,884	336,791
固定資産合計	602,541	571,947
資産合計	1,722,936	1,598,720
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	441,301	353,393
短期借入金	125,120	116,417
1年内返済予定のノンリコース借入金	9,458	7,179
1年内償還予定の社債	25,000	25,000
1年内償還予定のノンリコース社債	668	17,119
未成工事受入金	102,916	113,280
完成工事補償引当金	3,799	3,539
工事損失引当金	22,950	17,008
役員賞与引当金	176	—
その他	136,184	127,417
流動負債合計	867,576	780,355
固定負債		
社債	65,000	65,000
転換社債型新株予約権付社債	30,136	30,121
ノンリコース社債	16,785	—
長期借入金	76,772	70,712
ノンリコース借入金	43,542	39,366
関連事業損失引当金	5,510	5,213
退職給付に係る負債	68,150	66,572
その他	63,807	55,802
固定負債合計	369,704	332,788
負債合計	1,237,281	1,113,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,155	43,116
利益剰余金	219,507	246,165
自己株式	△1,571	△1,579
株主資本合計	335,457	362,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,849	109,038
繰延ヘッジ損益	15	△22
土地再評価差額金	26,293	26,044
為替換算調整勘定	756	△3,426
退職給付に係る調整累計額	△13,656	△12,668
その他の包括利益累計額合計	145,258	118,964
非支配株主持分	4,939	4,546
純資産合計	485,655	485,577
負債純資産合計	1,722,936	1,598,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高		
完成工事高	704,534	650,865
開発事業等売上高	77,261	61,561
売上高合計	781,795	712,427
売上原価		
完成工事原価	640,509	571,620
開発事業等売上原価	67,281	52,885
売上原価合計	707,791	624,505
売上総利益		
完成工事総利益	64,024	79,245
開発事業等総利益	9,979	8,676
売上総利益合計	74,003	87,921
販売費及び一般管理費	34,475	36,184
営業利益	39,527	51,737
営業外収益		
受取利息	657	567
受取配当金	2,443	2,573
その他	923	1,161
営業外収益合計	4,024	4,302
営業外費用		
支払利息	1,563	1,547
為替差損	1,720	2,081
その他	1,204	665
営業外費用合計	4,487	4,294
経常利益	39,064	51,745
特別利益		
固定資産売却益	669	366
特別利益合計	669	366
特別損失		
固定資産売却損	221	11
投資有価証券評価損	—	99
特別損失合計	221	110
税金等調整前四半期純利益	39,512	52,001
法人税等	15,412	16,986
四半期純利益	24,100	35,014
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	55	△38
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,044	35,053

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	24,100	35,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,774	△22,801
繰延ヘッジ損益	29	△54
為替換算調整勘定	114	△4,548
退職給付に係る調整額	548	1,021
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△9
その他の包括利益合計	△23,076	△26,394
四半期包括利益	1,023	8,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	987	9,008
非支配株主に係る四半期包括利益	35	△388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	39,512	52,001
減価償却費	5,509	5,624
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△195	△170
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△8,336	△5,942
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△747	△118
固定資産売却損益(△は益)	214	△138
投資有価証券評価損益(△は益)	—	99
投資有価証券売却損益(△は益)	△662	△217
受取利息及び受取配当金	△3,100	△3,141
支払利息	1,563	1,547
売上債権の増減額(△は増加)	△24,243	136,272
販売用不動産の増減額(△は増加)	6,033	4,981
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△21,376	△5,633
開発事業支出金の増減額(△は増加)	2,230	△6,194
PFI事業等たな卸資産の増減額(△は増加)	3,997	3,681
仕入債務の増減額(△は減少)	△57,004	△85,849
未成工事受入金の増減額(△は減少)	21,033	11,619
その他	33,793	△5,522
小計	△1,778	102,900
利息及び配当金の受取額	3,668	3,546
利息の支払額	△1,525	△1,547
法人税等の支払額	△23,981	△19,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,617	85,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,606	△6,475
有形固定資産の売却による収入	455	544
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△145	△1,150
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	2,414	362
その他	△685	461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,566	△6,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,722	△7,864
長期借入れによる収入	2,100	5,500
長期借入金の返済による支出	△21,266	△12,142
ノンリコース借入れによる収入	13,444	—
ノンリコース借入金の返済による支出	△5,161	△6,454
ノンリコース社債の償還による支出	△2,042	△334
配当金の支払額	△3,536	△8,645
その他	△179	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,919	△30,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,114	△5,485
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,218	43,682
現金及び現金同等物の期首残高	242,482	274,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	205,263	317,850

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	632,250	20,793	128,751	781,795	—	781,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,398	132	82,939	92,470	△92,470	—
計	641,649	20,925	211,690	874,265	△92,470	781,795
セグメント利益(注1)	29,545	3,458	6,219	39,224	303	39,527

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業や子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額303百万円は、セグメント間取引消去等です。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	578,612	8,377	125,437	712,427	—	712,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,699	137	76,401	82,238	△82,238	—
計	584,311	8,514	201,839	794,665	△82,238	712,427
セグメント利益(注1)	41,676	2,258	6,573	50,508	1,229	51,737

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでいません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業や子会社が営んでいる各種事業を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額1,229百万円は、セグメント間取引消去等です。

以上